

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2014-100175(P2014-100175A)
 【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報2014-029
 【出願番号】特願2012-252295(P2012-252295)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/14 A

A 6 1 B 3/14 M

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の波長を含んだ光を被検眼に向けて照射する第1照射手段と、
 前記第1波長の照射に基づく第1の画像を取得する第1画像取得手段と、
 前記第1波長とは異なる第2の波長を含んだ光を被検眼に向けて照射する第2照射手段と、
 前記第2波長の照射に基づく第2の画像を取得する第2画像取得手段と、
前記第1画像と前記第2画像の略同一となる眼底部位の画像データを比較演算し、該比較演算を複数の部位に対して行った演算結果画像を生成する演算手段と、
を備えたことを特徴とする眼底撮影装置。

【請求項2】

請求項1に記載の眼底撮影装置であって、
第1画像の取得、または前記第2画像の取得を開始するためのトリガ信号を入力するトリガ信号入力手段を備え、
前記トリガ信号に基づいて、前記第1画像の取得と、前記第2画像の取得と、前記演算結果画像の生成とを一連の流れとして自動で行う制御手段を備える、
ことを特徴とする眼底撮影装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の眼底撮影装置であって、
前記第1波長光の照射と前記第2波長光の照射とを同時に行うと共に、前記第1画像の取得と前記第2画像の取得とを同時に行う、
ことを特徴とする眼底撮影装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の眼底撮影装置であって、
前記第1画像と前記第2画像とは被検眼の眼底で生じる蛍光反応を取得した蛍光画像である、
ことを特徴とする眼底撮影装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 第1の波長を含んだ光を被検眼に向けて照射する第1照射手段と、前記第1波長の照射に基づく第1の画像を取得する第1画像取得手段と、前記第1波長とは異なる第2の波長を含んだ光を被検眼に向けて照射する第2照射手段と、前記第2波長の照射に基づく第2の画像を取得する第2画像取得手段と、前記第1画像と前記第2画像の略同一となる眼底部位の画像データを比較演算し、該比較演算を複数の部位に対して行った演算結果画像を生成する演算手段と、を備えたことを特徴とする。